

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Passoくらぶ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っている。また、活動プログラムが固定化しないように工夫をしている。	毎月カリキュラム内容について利用者のニーズや課題とともに職員で意見を出し合って検討を行い、次月の日ごとのカリキュラム内容を予約表に記載して利用者と保護者に案内を行っている。さらに当日の利用予定の利用者に合わせて内容の進め方を工夫している。	利用者が様々な経験をして、能力の向上と心身の成長を支援できるようカリキュラム見直しを行い、利用者と保護者への周知を継続していく。特にソーシャルスキル等、認知機能の向上や人間関係・コミュニケーション力の向上に力を入れていく。
2	支援開始前に打ち合わせを行い支援内容の確認や役割分担の確認を行っている。支援終了後に行った支援の振り返りを行い気付いた点等を共有している。	職員間で打ち合わせを行い、当日のスケジュール確認やその日の支援で気付いた点を話し合いを共有を行っている。職員の出勤日や出勤時間に合わせた情報共有ができるよう個別に口頭での共有や支援記録等での共有を行い工夫をしている。	今後も職員での打ち合わせを継続して、情報共有に努めていく中で、一人一人の利用者の状況やニーズに合わせた対応や支援につなげていく。共有された情報を実際の利用者の支援に活かせるよう支援技法に焦点をあてた職員研修を開催していく。
3	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	毎月予約表にて活動や行事の予定を利用者と保護者に知らせている。会報としてPassoくらぶ便りを発行しており、活動時の様子を発信している。随時の連絡事項はHUGやLINEを活用して保護者との連絡体制を築いている。	利用者や保護者のニーズにあわせて事業所の通所を活用していただけるよう、予約表の記載方法の見直しを定期的に行っていく。Passoくらぶ便りのデザインや掲載内容についても工夫を継続して、各利用者と保護者に事業所全体の取り組みを周知していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出イベントを通じた活動やプロスポーツチームとの活動に参加をしているが、放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子どもと一緒に活動する機会が持てていない。	事業所に通所する利用者が中学生以上が多く、同じ年代の子どもと活動する企画内容や場所やその調整に必要な関係者の情報等が把握できていない。	自立支援協議会等へ出席し、地域のインクルージョンの取り組みについて把握する中で情報収集を継続する。また、これまで開催した外部講師セミナー等とともに事業所独自の交流イベントの企画等を検討する。
2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れや、子どもの主治医等との連絡体制を整える機会が持てていない。	進学・就労等の移行支援に向けた本人支援に力を入れており、医療的ケアが必要な利用者は在籍していない。	まず事業所内での医療的ケアは必要ないが通院等をしている利用者に対し、安心・安定して通所できるよう利用者の体調管理として保護者や通院先医療機関等と連絡体制を整えていく。
3	事業所による自己評価と保護者・従業員からの評価、法人による運営状況の確認を行っているが第三者による外部評価の導入には至っていない。	各種行政の通知に基づく書類整備、利用者に必要な支援を提供する体制整備、運営に必要な研修・委員会運営の整備から順次取り組んでいる状況である。	事業所による自己評価と保護者・従業員からの評価、法人による運営状況の確認を継続する中で、第三者による外部評価の導入について検討を行っていく。